

 開校明治七年 開校150周年 <b>大和田小だより</b> <b>学校教育目標</b> かしこく やさしく がんばる子 地域と伝統に支えられ、本年度開校150周年を迎えました。	<b>めざす学校像</b> 子供の自己有用感を実感させ、主体的・協働的な学びを実践する学校 ～すべての子を大和田小の光に～	<b>4月の生活目標</b> 校内を静かに歩こう ・校内で走らない ・廊下も階段も右側通行 ・移動中は会釈であいさつ
	4月号 令和6年4月8日 新座市立大和田小学校 児童数 745名・学級数 27学級	

卯月 一期一会 入学・進級おめでとうございます 校長 近藤 章宏

新しい1年が始まりました

春休みには学校の花壇ではたくさんの花々が、校庭脇では紫モクレンの花が咲き誇っていました。校舎前には2年生が育てているチューリップも鉢から花を咲かせ始めています。色とりどりに懸命に花を咲かせている様子は、新学期になって学校に行くのが待ち遠しい子供たちを見るようです。



新しい年度が始まりました。本年度は新入学生116名を迎え、計27学級、児童数745名で大和田小はスタートいたします。

今年も春休み中に新6年生が新年度の準備作業を手伝ってくれました。新しい教科書を教室に運んだり、新年度の教室の児童数の増減に合わせて机を移動したりしてくれました。また新1年生の教室や、階段やくつ箱、トイレ、体育館の掃除をしたりするなど、一生懸命に働いていました。自分の分担の仕事が終わり、手が空いている児童は他の仕事を見つけては、「私がやります」と先生方に自分から申し出てくれています。てきぱきと働く姿に、最高学年になった自覚と新1年生を迎えることのできる喜びを感じることができました。6年生がリーダー



4/4の準備登校の様子

シップを発揮して、大和田小学校を引っ張ってくれるものと期待しています。

新年度にあたり

教職員も年度当初人事異動により、新たな体制でスタートいたしました。詳細は裏面をご覧ください。年度当初に、校長として教職員に本年度の取組方針を以下のように伝えました。

制限のない学校生活を送れるようになって、2年目となる本年度は、社会に開かれた教育課程、保護者や地域と連携した教育活動を、より進めていく。また昨年度に検討した新しい学校の生活様式をふまえた教育活動・学校行事の在り方について、本年度も引き続き成果と課題をふまえながら実践し、子供たちや保護者、そして教職員の負担を減じることができるよう、教育活動を目指す。

開校150周年の節目の年を迎えます

本校は明治7年に、神明神社の脇に「野火止学校」という名称で開校いたしました。当時の状況を想像するに明治政府や県等からの財政的な支援の全くない状況の中で、学校を上げることは相当のご苦労があったものと推察いたします。そこには地域の方々が学校という学びの場を通して、子供達がこれからの社会に役立つ人材として育成できるという確固たる信念があったのではないのでしょうか。その後本校は「共進学校」、「大和田第一尋常小学校」と名前を変え歴史を刻んでまいりました。本年度本校は大きな節目の150周年を迎えます。5月には記念の航空写真を撮影し、11月には記念式典の開催を予定しています。保護者、地域の皆様とともに歴史と伝統を感じ、子供たちに本校の誇りを感じられる取り組みを進めてまいります。



1960年頃の校舎

